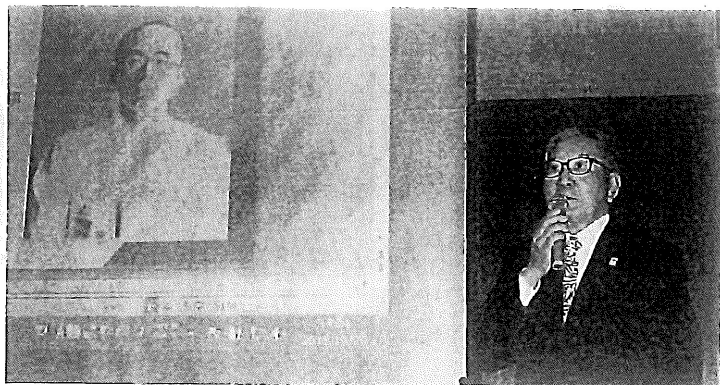


沖縄戦時の知事・島田叡氏のふ

兵庫との絆、大切にしたい



「島田さんが結んでくれた兵庫との絆を大切にしたい」と話す
嘉数昇明さん＝神戸市中央区波止場町2

元沖縄県副知事、神戸で講演

神戸出身で太平洋戦争末期に官選知事として沖縄に赴いた島田叡氏の功績を学ぶ講演会が20日、神戸市中央区の神戸海洋博物館ホールで開かれた。沖縄県元副知事で、島田氏の慰霊を続ける嘉数昇明さん(76)が講師を務め、戦禍が広がる中、住民保護に尽力した島田氏について「戦後73年たった今も沖縄県民に尊敬されている」と話した。

NPO法人・近畿みなどの達人などが主催する講座の一環。嘉数さんは1942年、那覇市に生まれ、県議などを経て副知事を務めた。現在は島田氏を含め戦争で犠牲となった県職員ら

を追悼する「島守の会」の顧問。戦後70年の2015年には、同市に顕彰碑を建立する活動にも参加した。

嘉数さんは米軍に制海・制空権を奪われる中、島田氏が台湾に渡って米を調達

した話に触れ、「命を捨てて尽くしたからこそ、住民の心に焼き付いたのだろう」と指摘。また、兵庫県が戦後の沖縄にスポーツ施設を建設するなど、島田氏が縁で生まれた両県のつながりを紹介し、「兵庫の中学・高校生が、修学旅行で沖縄に来て、戦史を学んでくれている。島田さんが結んでくれた絆を今後も大切にしたい」と締めくくった。

(津谷治英)